



今日は、食育コラムの特集です！

食育コラム

NO.18

秋ナスの季節に…



お二人の方から、季節感あふれるコラムをいただきました。なかなか季節を感じる事が無い現代ですが、ほっとしますね。

遠く的那須の山々が秋の表情となってくると、疲れた夏の身体が徐々に回復してきます。妻に秋ナスとピーマンに豚肉、ウインナーソーセージの炒め物をよく作ってもらいます。

秋ナスは嫁に食わずなと言いますが、秋ナスは味がよいのでしゅうとめがもったいないから嫁に食わずなという嫁いびり説、また身体が冷えるので大切な嫁には食べさせるなといういたわり説等々あります。

栃木県は製造業が盛んで適齢期の女性が少なく、男性にとっては結婚のハードルが高いです。嫁さんがいない所帯が多いと思われるので、秋ナスにまつわる諺とは無縁のようです。

先の内閣府の調査で20代の独身男性の4割がデート未経験、30代4人に1人が「結婚願望なし」との回答に息子を持つ親としては悩ましいところです。(I)

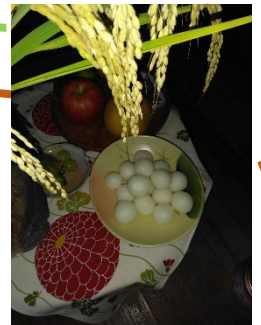
最近の食育くんはSDGsにも関心が深いんだね！でもちよっと???

食育くん まじん



NO.19

〜十五夜〜



涼しくなるのか?とも思われた、今年の猛暑もさすがに静まり、日本の秋の風物詩の十五夜になりました。今年は十五夜と満月が一致する日だとか。(例年1~2日ずれることが多いそうです。)

十五夜は秋の七草のススキや、月見団子、採れた農作物等をお供えし、月を愛で、収穫の喜びを分かち合う日です。

この月見団子は、上新粉、白玉粉などで簡単に作れるので、子どもたちと作ってみてはいかがでしょう。ぜひ親子のふれあいの場にしてほしいです。

我が家の十五夜はお団子の他に、卵を落としたこんな月見ご飯でした。(写真) 他には月見そば、月見うどんなども有りますが、お野菜たっぷりのけんちん汁、スコッチエッグなども用意できると良いですね。



十三夜は10月8日だそうです。お団子は13個お供えます。(N)